

2015年4月1日

スカパーJSAT株式会社

2015年度入社式にあたり新入社員への社長訓示（要旨）

スカパーJSAT株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治）は、本日4月1日、赤坂の本社会議室において2015年度入社式を行いました。8名の新入社員（男子6名、女子2名）に対し、次のように社長訓示を行いました。

【社長訓示】

入社、おめでとうございます。

皆さんが社会人として歩みだすにあたり、心に留めておいて欲しいことを一言話したいと思います。

1985年の通信自由化から始まり、当社は、これまでの事業の拡大・発展のプロセスにおいて、マーケットや技術革新の変化に敏感に対応し、今日では、アジア最大の衛星会社であると同時に国内唯一の衛星多チャンネルプラットフォームを展開する世界でも例のないビジネスモデルで新たな成長を目指しています。こうした当社ならではのリソースを活かし、先月からJCSAT-3A（東経128度）衛星を使って、日本初の4K商用チャンネルを2チャンネル開局しました。また、2014年2月には、アジアに向け24時間日本コンテンツで編成する専門チャンネル「WAKUWAKU JAPAN」を開局しましたが、これは、衛星のトランスポンダ（中継器）をインドネシアの会社に使ってもらったことがきっかけで、国内にのみ向いていた放送事業を海外で展開しようとして挑戦することにつながりました。衛星事業と放送事業のコラボレーションの結果実現しただけでなく、国のCool Japan戦略、Visit Japan戦略を通じた産業振興にも寄与するものとの理解のもと、現在、5月の新会社設立への準備も進めています。

しかしながら、当社の収益源となっている国内外の既存の事業領域では、競合サービスが次々と立ち上がってきており、我々が技術やマーケットの変化への感度を失い、リスクを恐れてイノベーションを怠れば、一瞬にしてシェアが吹き飛んでいく世界であることを入社した初日のいま、肝に銘じてほしいと思います。

インターネット社会の中で最新情報や技術動向を吸収する手段は格段に増えましたが、ビジネスチャンスになる新たなニーズを見つけ出すためには、何よりも多種多様な人々とのコミュニケーションが大切です。

また、学業と違ってビジネスの世界ではひとりではできないものはなく、自社だけで完結できる事業もあり得ず、ビジネス活動には必ず自分のチームや組織があり、一緒に組んで推進するパートナーがいます。成功する商売や画期的なイノベーションは自社の強みを最大限活かしながら、日頃からのコミュニケーションで得られる最もふさわしいパートナーとのコラボレーションから得られることを心に刻んで欲しいと思います。

今日から皆さんは同じチームの一員です。共に頑張ってください。

以上